

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 第3回岐山高等学校 学校運営協議会
- 2 開催日時 令和4年2月10日（木）
- 3 開催方法 書面開催
- 4 参加者

会長	河崎 哲嗣	岐阜大学教育学部数学教育講座 准教授
副会長	井關 敦子	岐阜大学医学部母性看護学教授
委員	増田 勝美	長良東地区自治会連合会長
	内田 真樹	長良東民生委員・主任児童委員
	若井 悟	岐山高等学校元同窓会長
	小林 恵美	岐山高等学校PTA3年学年委員長
学校関係者	加藤 拓真	岐山高等学校PTA会長
	鈴木 奈里	岐山高等学校PTA2年学年委員長
	入野さよ子	岐山高等学校PTA1年学年委員長
学校側	園部 栄子	校長
	上山 順子	事務部長
	小林 雅彦	教頭
	木澤 朗	教頭
	川口 晋	教務主任
	可知 誠	生徒指導主事
	美濃輪智彦	進路指導主事
	竹中 諒	探究部長
	藤井 智大	記録（教務部）

5 会議の概要（協議事項）

(1) 3つの方針（スクール・ポリシー）について

意見1：アドミッション・ポリシーの2つ目の一部表現の変更（謙虚に自己を見つめることができる生徒→主体的に自己を見つめることができる生徒）についての考え方は、謙虚にという捉え方に個人差があり、主体的にはこれからの教育に求められることでもあるため間違いがないと考える。

意見2：グラデュエーション・ポリシーの2つ目の「強い心身をもち～」について「助け合う、共同（協同）することで、力を合わせて困難を克服するというニュアンスがあるとよい。

意見3：探究的な活動や科学的視点など本校らしさが盛り込まれている。アドミッション・ポリシーについては、中学生にも理解しやすい表現になっており、大変良いスクール・ポリシーである。

(2) 分掌からの自己評価について

意見1：学校運営全体について、新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の災難に立ち向かって、取り組んでいる姿に敬服する。

意見2：教務部について、学習に意欲的に取り組めない、自ら発展・応用的な学習に取り組む姿勢が弱いとある点が気になる。学校や家庭のサポートにより、意識付けができるようになるとよい。

意見3：探究部について、様々な講演や体験活動、探究学習などを通して、人として成長し、進路実現に繋がっていく。今後も様々な機会を提供していくことが大切である。

(3) 学校運営や生徒の活動等について

意見1：生徒の教育活動が新聞に掲載されるなどの情報発信は大切である。今後も明るく元気な先生方や生徒達の様子を発信し続けてほしい。

意見2：コロナ禍の中でも、工夫して生徒会活動、ボランティア活動、外部講師による講座などに取り組んでいることに感心する。今後も学校生活が楽しくなる取組や学習意欲が上がる指導に期待する。

意見3：18歳成人が現実となることを踏まえて、生徒達が主権者として、より主体的に考え、行動する機会を充実させてほしい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、今まで協議を重ねてきた3つの方針（スクール・ポリシー）の最終案が承認された。また、一年間の教育活動について良い評価と、今後も継続し、より良くしていくことに期待する意見が得られた。